

## AIオンデマンドバス

### 「のーと足柄」事業が

### 持続可能となるために



質問者  
武尾 哲治

議員



3年を自途にしたAIオンデマンドバス「のーと足柄」の実証実験が行われており、来年度は2年目となります。

路線バスの減便も予定されるなど、将来的に公共交通はAIオンデマンドバスに頼る場面がますます増えることが予測されます。

そのためにもこの事業を持続可能にする必要があるため、次のことについて伺います。

**答** のーと足柄の利用登録人数は開始時点で261人、2月末では1076人となっております。着実に増加している。今後

も登録だけで終わらないよう、利用促進に向けた周知活動を強化する。



### 4年目から完全自走する事業を目指す

回答 (町長)

**質** 委託先となっている事業者の収支の状況について

**答** 令和5年度の収入は合計で約6500万円、支出の合計は約9300万円、約2800万円のマイナスとなります。これは初期投資等の3千



AIオンデマンドバス「のーと足柄」の会員登録はこちら

万円が要因です。  
**質** 来年度の目標と計画について  
**答** この半年の結果を踏まえ、持続的な運行に向けて随時運賃の見直しや車両台数及びミーティングポイント(乗降場所)等の再検討を行うと共に4年目から完全自走する事業とする。

## 行政への無関心と

### 女性の社会活躍について



質問者  
秋田谷 光彦

議員



ろん、高齢者の投票所へ向う利便性の向上や、若者に馴染のSNSなどで今以上に選挙情報の発信が必要と思われる。



### 意思決定過程での男女共同参画を目指す

回答 (町長)

**質** 女性活躍について、

国は目標を掲げています。町も計画を立てていると思いますが、活躍の場を考える必要があると思います。各種団体や審議会、地区役員、議会も女性が少数で男女比が適正とは言えません。一層の女性の社会進出を期待しなければ社会が成り立たない時代となりました。施策を伺います。

**答** 男女共同参画プランは令和9年度までを計画期間として、男女が社会的、政治的、経済的及び文化的利益を享受でき共に責任を担うべき社会を目指すとしている。性別にかかわらず政策、方針組織における意思決定過程への男女共同参画社会を目指し進めていく。

**質** 令和元年の町議会議員選挙は無投票で、昨年の選挙はかろうじて選挙戦となりましたが、行政への関心低下を露呈しました。特に投票率が低く改善の必要があります。来年は町長選挙もありますが、行政としての対策をお聞かせください。

**答** 選挙については選挙管理委員会の所管だが、御質問なので思いを述べます。投票率は天候など諸事情の影響を受けるが、20代から30代の世代の投票率が一番低い主な理由は、政治に関心がない、投票したい政党や候補者がいない、仕事や趣味などで時間が無いなどが要因かと思われる。期日前投票、不在者投票はもち

